

EL MUNDO DE HOJYO TAKASHI 2012



(北条隆の世界)

Cuaderno de campo: de marshes、ríos y mares、Tripartito などの2枚のアルバムの叙事詩の後、日本の伝統を巡る音楽の旅が始まりました。

インスピレーションは、日本の折り紙の達人である北条隆の世界について学んだことから生まれました。

それは、日本の音楽、楽器、文化に関する綿密な研究活動でした。『北条隆の世界』の8 構図、折り紙の達人が描いた8 人物 着想 得。

音楽的には、伝統的な楽器が古典的な西洋のオーケストラと組み合わせられています。ピアノは他の音を優先してバックグラウンドに追いやられます。

カバーはアメリカの無声映画風のキャラクターを獲得しましたが、オリジナルは配給業者によって拒否された赤い背景を持っていました。それまでに、私は裏表紙を作るのをやめました。

1. Bruja sobre dragón (ドラゴンの魔女)
2. Violinista バイオリニスト
3. Pegasus (ペガサス)
4. Practicante de kendo (剣道家)
5. Acuario (水瓶座)
6. Catura (捕獲)
7. Pez león (ミノカサゴ)
8. Arcángel Gabriel (大天使ガブリエル)

このアルバムは、コルグの Triton Extreme ワークステーションで作成されました。

「ウィッチ オン ドラゴン」では、風が強く穏やかな雰囲気と対照的なパー

カッションとサウンドが満載の、壮大なスタイルの日本の物語を見つけることができます。オリエンタル音楽に非常に典型的なメロディーとソロの特徴は、特に関連性があります。

ヴァイオリニスト 予想通り、ヴァイオリンが主役の伝統的な曲でもあります。

「ペガサス」は、よりローカルなキャラクターではなく、より叙情的な作品ですが、特にモジュレーティング スケールでは、特定の叙事詩の瞬間があります。

「Practicante de kendor」は、演劇と音楽との関係に言及しながら、日本の伝統そのものを再び取り戻します。非常に超越的なその構造と楽器。

「水瓶座」はオリエンタル スタイルのオーケストラ曲の中に位置する、より一般的な性格を持っています。

象徴主義と叙事詩的な性格に戻ると、日本の合唱団に言及した「Catura」が見つかります。

もう1 作品 「Pez león」で、アルバム「Arcángel Gabriel」の締めくくりとして、明確な伝統的なメロディーとハープが最大の指数となっています。

北条隆の世界は、私を日本の伝統音楽とクラシック音楽に関する深い研究へと導きました。すでにコメントしたように、これは伝統的な日本の音楽のアルバムではなく、タカシと彼の芸術に敬意を表する個人的な視点です。

CD Baby はまだ配布されていたので、このアルバムにはあまり期待していませんでした。個人的な経験とはかけ離れた、この音楽を作曲するには一定の困難が伴うことは理解していましたが、結果には満足しています。折り紙アーティストが少なくとも一度は聞いたことがあるかどうかさえわかりません。

同年、別の新しいひねりが加えられました。「ベレケケ カルテット」です。

このアルバムの入手方法は

wav または mp3 形式で
お問い合わせ: berekeke@hotmail.com